

会派を超え4人の議員で 要望書提出

前回の『つわぶき便り』で、市役所発ネオポリス経由吉川駅北口行きバスの始発、「市役所」バス停の危険性についてお伝えしました。

その理由は①バスの待機スペースがないこと、②始発待ちのため停車しているのか、乗降客のための一時停止なのか判断が付きにくいこと、③前方が下り坂で対向車の走行状況がわかりにくいことをお伝えしました。また、バスの運転手さんも危険を感じているとのことでした。

10月15日、きよみ野に住む4人の議員（伊藤正勝議員・岩田京子議員・大泉日出男議員、そして私）で中原市長あてに要望書を提出しました。



左から伊藤正勝議員・岩田京子議員・雪田きよみ・大泉日出男議員と前3人は政策室職員

- ① 始発のバス停を、バスの待機スペースが確保された市役所北側のバス停に移動させる。
 - ② 「きよみ野発」ネオポリス経由吉川駅北口行きにルートを変更する。
 - ③ 現在のバス停に待機スペースを作る。
- 上記3点を提案し、バス会社との検討を求めました。前向きに検討していただき、バス停の安全が図られることを心から期待しています。



生活相談

いつでも、どんなことでも、
気軽にお電話ください。

983-7140



ひとりで苦しまないで！

三浦春馬さん、竹内結子さんなど短期間に芸能人の自殺が相次ぎ、多くの方が衝撃を受けたことと思います。コロナの影響で心の不調を訴える方が増えています。



警察統計では、7～9月の自殺者は3カ月連続で1,800人を超え、前年同期よりも400人増えました。特に女性と子どもの自殺の増加が目立ちます。雇用の不安定な女性が経済的にも追い詰められたこと、自粛を求められる生活の中で家族の問題が一層顕在化したことなどを、多くの専門家が理由として指摘しています。

日本共産党市議団が今年行った市民アンケートでも、「常に不安」「落ち着かない」などの声が多く寄せられました。勿論それが、そのまま自殺に繋がるとは思いません。でももしも倦怠感や睡眠障害や食欲の減退などの症状が伴うなら、ぜひ受診をお願いしたいと思います。

市には「心とくらしの相談員」が配置されました。コロナの影響には、様々な対策がとられています。制度をぜひご活用ください。相談さえすれば、必ず道が開けます。一人で苦しまないで♡

きよみの暮らし

来月、お誕生日を迎えます。なんと、3回目の成人式です(◡‿◡)。♡

今年の春届いた年金の納入通知書、上期分しか入っていませんでした。なぜ?どうして?下期はいつ来るの?と不安な日々を過ごし、先日越谷年金事務所に問い合わせをしました。そして初めて知りました国民年金の支払いは60歳まで!!!

でも国民年金を支払うべき期間は40年=480カ月です。これに満たなければ、満額を受け取ることができません。私が就職したのは21歳の4月なので、1年半ほど足りません。そういう人には任意加入が認められています。全然知りませんでした。年金制度、難しくわかりにくいですね。勉強しようと思います。



つわぶき便り

日本共産党吉川市議会議員
雪田 きよみ
住所：吉川市きよみ野3-23-1
電話：983-7140
e-mail:kiyomi.snow@mbr.nifty.com
URL:kiyomiyukita.com

避難所対策の充実を！

9月議会一般

台風14号は伊豆諸島南部に記録的な大雨を降らせましたが、上陸を免れ、人的な被害がなかったことは幸いでした。

10月の台風の平均時速は61.6kmとのこと。昨年、関東・甲信・東北に甚大な被害をもたらした台風19号は時速37.5kmと、平均よりも39%も遅い速度でした。そして今回の14号は更に遅く、時速15kmと自転車並みの速度でした。地球温暖化と台風の移動速度は関係があり、温暖化が進めば台風の速度もゆっくりとなり、その分だけ被害が大きくなることが予測されるとのことです。温暖化を防止の大切さを、改めて思います。

避難所不足にどう対処？

市内の避難所は18カ所(地震時は19カ所)で、ソーシャルディスタンスを考慮した収容人数は1,800人です。昨年10月の台風19号での避難者は、下の表の通りです。

昨年台風19号の避難者数

	避難所	避難者数(名)
指定 避難所	旭小学校	35
	三輪野江小学校	29
	中曽根小学校	399
	中央中学校	137
	中央公民館	122
福祉 避難所	吉川小学校	48
	平沼公民館	1
	児童館ワンダーランド	23

中川流域の避難所の、コロナ禍での収容人数は次の表のとおりです。今、台風19号並みの台風が来たら、避難所が絶対的に足りないことは火を見るよりも明らかです。9月議会の一般質問では、避難所対策について質問をしました。

コロナ禍での収容可能人数

吉川小学校	176人	吉川中学校	149人
中曽根小学校	126人	中央公民館	48人
美南小学校	179人	ワンダーランド	19人

市の答弁は「民間事業者と一時避難所としての施設利用について調整をしている」とのことでした。また避難所以外でも、在宅避難や親せき・友人宅への避難など分散避難の周知を行っているとの答弁でした。

確かに、どこに避難するかを日常的に考えておくことは必要なことかもしれません。

避難所難民の防止を！

市の避難所は、地域ごとにどの避難所とは決まっています。一つの避難所に避難者が集中し、避難所難民が発生することはないのか、質問をしました。市の答弁は、「収容人数を超えて入場をさせるわけにはいかない」「順次(避難所を)拡大して移動を促していきたい」「避難してきた方に在宅避難や分散避難を検討していただく場合もあるかと思う」と、驚くべきものでした。近年起きている水害では、「あつと言う間に水が来た」という状況が報道されています。順次対応など可能とは思えません。予め地域ごとの避難所を指定し、非難者数も想定し、数値的な計画を立てる必要があると思います。

共産党議員団が今年も行っている市民アンケートにも、こうした要望が多く寄せられています。しっかりとした市の対応を求めました。



中川の治水対策で、水害に強い街づくりを！

昨年10月の台風19号による中川の水位は422cmに達し、氾濫危険水位410cmを超えました。中川のすぐ隣の吉川小学校には48名、下流の中曽根小学校には399名の方が非難しました。中川の治水に、多くの方が不安を抱えています。



昨年台風19号勅語の高久地域から見た中川

中川の浚渫を！

「浚渫」とは、川の底をさらうことで「しゅんせつ」と読みます。自民党の赤出川義夫議員も私と同じく、一般質問で中川の浚渫を要望しました。同議員が子どもの頃、中川には浚渫船が来ていたと発言していました。私もかつて、治水対策として最も安上がりで効果的、しかも手っ取り早くできるのが「浚渫」だと、以前学びました。

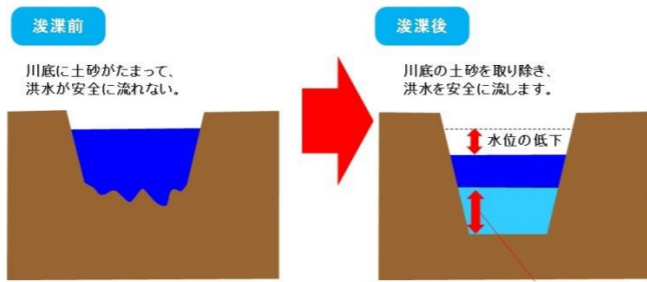
3月議会で浚渫について質問しました。市の答弁は、「江戸川河川事務所に、できるだけやっていただけるように働きかけていきたい」というものでした。9月議会で、進捗状況を問いました。

市の答弁は、「江戸川河川事務所から中川・綾瀬川流域計画書では必要となる河道掘削は完了しているとの回答だった」との答弁でした。つまり、浚渫は不要と言われたという意味です。

浚渫と河道掘削???

洪水時の水位を低下させるため、河道を掘って水が流れる面積を広くすることが「河道掘削」、川底の土砂を取り除く作業を「浚渫」といいます。どちらも作業内容は同じような印象です。しかし浚渫は、上流からの堆積土砂のため川底が浅くなり、河川の流量が確保できなくなることから土砂を取り除き水深の維持をするために行うものです。長い間浚渫していない中川に、土砂

が蓄積していない保障があるのでしょうか。



利根川河川事務所ホームページより

治水対策の前進を

市は、「中川・綾瀬川河川流域改修促進期成同盟会及び市長からも、毎年築堤の嵩上げの要望している」、「江戸川河川事務所が水位上昇時の流下能力確保のため、弥生橋から旧市役所付近までの左岸の樹木の伐採を行った」など答弁しました。また昨今は、「流域治水」に国が力を入れており、国の動向を注視していきたいとも答弁しました。

マルチリンガルな市のホームページ

昨年の台風19号の際、日本で暮らし始めて間もない外国人の友人からLINEが届きました。どこに避難すれば良いのか、雨の状況は同なのか、不安でたまらない、そんな内容でした。

市のホームページは、外国人のみなさんにタイムリーな災害・避難所情報などは到底届かない内容でした。越谷市のホームページを見ると、多国籍言語で市の情報が受け取れる仕組みができていました。昨年12月議会で、市のホームページもマルチリンガルにするよう要望しました。

先日市のホームページをチェックしてみると、外国人向けに英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タガログ語の翻訳機能が備けられていました。外国人の皆さんにも市内の大切な情報が届く仕組みができたことを、とても嬉しく思っています。



介護保険制度が直面する3つの課題

介護保険給付費準備基金 9億2,500万円

吉川市の介護保険給付費準備基金は9億2,500万円で、大きな黒字が積み上げられています。吉川市だけでなく全国的に見ても、2000年に介護保険がスタートして以来、介護保険財政は一貫して黒字だと言われています。

にもかかわらず、介護保険料はスタート当初の約2倍です。日本共産党吉川市議団が今年も行った市民アンケートで最も多かった回答は「介護保険料の減額」でした。

サービスの利用抑制の一方で、深刻な介護職員の離職

一方で介護保険サービスは利用抑制が進められています。要支援1・2と認定された方の訪問介護と通所介護は、「介護予防・日常生活支援総合事業」として介護保険給付から外されました。今更に、要介護1~5まで全ての要介護者を、本人の希望と自治体の判断で21年度から総合事業の対象にできるという方向で、検討が進められています。

介護報酬も低く抑えられています。その結果、介護職員の給与が低く抑えられ、せっかく資格を取った介護職員の方々が仕事を辞めていってしまう状況はずっと変わりません。ある調査によれば、介護職の資格を持つ約250万人のうち、働いているのは85.6%とのことです。

介護の社会化を目指して始めたはずの介護保険制度は、今では自立や自助・共助ばかりが求められ

介護の社会化も進まず...

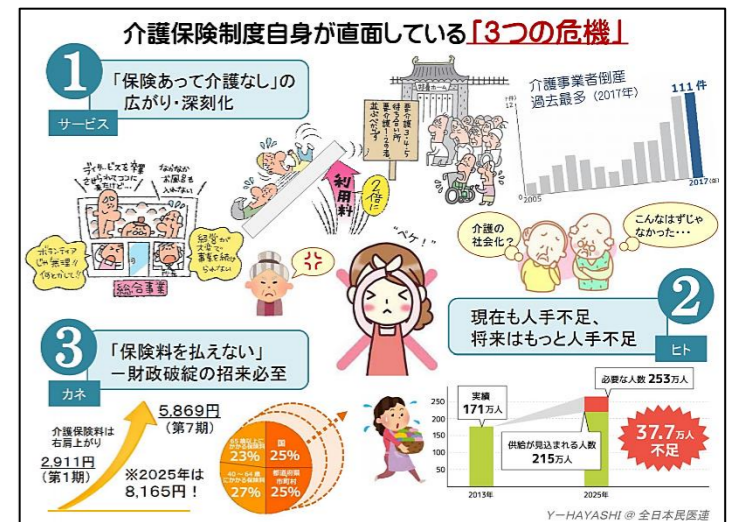
るようになっていきます。その結果、介護離職も介護虐待も改善していない状況が続いているのではないのでしょうか。介護職員の転職が繰り返され、入所施設などでも安定した雇用が課題になっています。なぜそうした問題が起きるかと言えば、介護職員の労働条件の悪さにあるのではないのでしょうか。

介護保険制度がスタートして21年も経ちながら、

要介護者にとっても、介護者にとっても、そして介護事業に携わる介護職員にとってもより良い状況を作りだせていません。こうした点に介護保険制度の行き詰まりを感じています。

高齢者は増えていきますし、これから更に増えていくことは明らかです。しかしその分、1号被保険者、介護保険料を直接支払う人も増えていきます。健康づくりやフレイル予防などが注目される中で、またサービスの利用抑制が続く中で、サービスを使う人の割合は減っていくことが予測されます。

こういう状況の中で、基金の積み上げをするのではなく、積み上げられたお金が要介護者へのサービスや、介護報酬などにしっかりと使われるように、市は国や県と共に検討していくべきだと思います。



全日本民医連事務局次長 林泰則さん作成(2018年)

JCP-つわぶきサポーターズ DVD 視聴会

「見た目と見る目」

顔面動静脈奇形という先天性の難病で、口元が大きく変形している女性は、その見た目ゆえに子どもの頃いじめを受けました。母となった今、その顔を武器に、「見る目」をテーマにひとり芝居で「見た目と見る目」について語りかけています。

11月8日(日)10時～
おあしすセミナールーム1